

お兄さん、お姉さんと一緒にいっぱい獲ったよ！



## 新1年生が校内の竹林でタケノコ掘りに挑戦！

本日4月23日（水）、区立方南小学校（方南1-52-14、校長：小原潤、児童数470人）の敷地内にある竹林で、入学したばかりの1年生92人と6年生68人が、一緒にタケノコ掘りを行いました。

方南小学校は、交通量の多い環状7号線に面していることから、自然環境を守ろうと、昭和45年頃から保護者や卒業生、先生、地域の方々が協力して、校庭の一角に竹やクヌギ、ユーカリなど400本を植えてきました。木々は年々育ち、「むさし野の森」と呼ばれる小さな森になりました。



この森の中にある約100㎡の竹林で、毎年春に6年生が新1年生の手をとって行うタケノコ掘りは、当時から続く伝統行事で、方南小学校の特色ある教育活動にもなっています。

午前9時、1年生と6年生が手をつないで、校舎脇にあるむさし野の森に集合し、5～6人で1つの班になって、タケノコ掘りが始まりました。6年生は大きいシャベルでタケノコの周りを、1年生は小さなシャベルや手を使い、更に細かい所を掘り進めていきます。「ここは土が固いから僕たちにまかせて！」と、小さな1年生を気遣う頼もしい姿や、そんな6年生を「がんばれ！がんばれ！」と応援する1年生の声で、竹林はにぎやかになりました。班のメンバーで力を合わせて30cm近いタケノコが獲れた時には、笑顔と拍手が沸き起こりました。

大小合わせて21本のタケノコが掘り出され、大きなシャベルを持った6年生は「難しかったけど楽しかった」「タケノコが折れそうでドキドキした」と話していました。

収穫したタケノコは、明日の給食でタケノコご飯にして食べる予定です。1年生の女の子は「タケノコは食べたことないので楽しみ！」と自分たちが掘ったタケノコがどんな味なのか、食べるのを心待ちにしている様子でした。

### [問い合わせ先]

方南小学校 TEL：3322-7661  
総務部広報課 TEL：3312-2111（代表）